

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		中国古典講読論 A Readings in the Chinese Classics A				担当者所属 職名・氏名		国際高等教育院 教授 道坂 昭廣			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		芸術・文学・言語(各論)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火1		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)											
[授業の概要・目的]											
中国古典世界の文学者や知識人たちの逸話を読む。（『太平広記』選読） 高校までの漢文と異なる観点から中国古典文を読解してゆく。読解を通して、日本にも影響を与えた中国古典世界の教養や価値観、考え方を紹介してゆく。											
[到達目標]											
中国古典世界を支えた、知識人及び民衆の発想や表現を理解することが出来るようになる。読解を通して、東アジア世界の根底にある中国的教養が理解できるようになる。 中国古典文について、高度な読解力が身につく。											
[授業計画と内容]											
中国古典世界において、文学の担い手は知識人の集団であった。彼らは優れた才能の持ち主たちであった。しかし、一方で極めて人間的な逸話も残している。それらを読んでゆくことにより、中国古典世界をより親しみやすいものにしたい。高校までの漢文の授業のように、読解だけを目的とするのではなく、読解を通して、広く中国古典文化を紹介することを目的とする。宋代に編集された『太平広記』は全500巻で、テーマ別に前代の知識人の逸話を纏めている。 比較的名前が知られている人物、例えば<驍勇>篇の趙雲や、<文章>篇の王維などの逸話、また唐代伝奇中のキュウ髯伝（<豪侠>篇）などを、選読する。 上記のような内容の話が纏められている<驍勇>篇<文章>篇<豪侠>篇の中から、あまり長くなく、かつ比較的親しみやすい文章を選び、それぞれ五回前後の授業で順に読んでゆく。											
[履修要件]											
後半（中国古典講読論 B）の連続履修を推奨する											
[成績評価の方法・観点]											
原則として平常点（20％）と定期試験（80％）で評価する。 平常点は、授業における発言。定期試験は筆記試験を行う。											
[教科書]											
プリント配布											
[参考書等]											
（参考書） 漢和辞典は必携。											
[授業外学修（予習・復習）等]											
必ず、辞書を用いて、課題文について大まかな意味を把握しておくこと。 有名な逸話が多いので、授業で読解ののち、日中の物語などに影響がないか調査すること。											
[その他（オフィスアワー等）]											
必ず予習してくること。											